

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 埼玉県 】

学校名【 県立川越南高等学校 】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ <b>V</b> （複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	対象学年：全校生徒 クラス・人数：1年358名・2年360名・3年358名
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（オリンピック・パラリンピック教育講演会） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	■2021年開催の東京オリンピック・パラリンピックへの興味関心を高めるとともに、生徒一人一人が日々の高校生活を振り返り、これからの学校生活を前向きに送るための一助となることを目的とした。
5 取組内容	（1）実施日 令和2年12月24日（木） （2）講師 警視庁第四機動隊 近代五種部 高宮なつみ氏 （3）演題 東京2020大会開催に向けて ～たった1日で5種競技を戦い抜く卒業生から在校生への 熱いメッセージ～ （4）内容 ■各教室にてプロジェクターと Google Chromebook を利用したりリモート形式で講演会を行った。司会は代表の生徒が担当し、アスリートとして競技に臨む姿勢やリオデジャネイロオリンピックでの体験、高校時代どのように過ごしたか等を生徒の代表が質問する一問一答形式で行った。



<p>6 主な成果</p>	<p>■卒業生が講師ということもあり、生徒の興味関心は非常に高いものであった。高校時代の思い出を話してもらったり、当時の担任にも登場してもらったりと、生徒にとってオリンピック・パラリンピックがより身近なものに感じられた様子である。</p> <p>■競技に取り組む中で苦労したことややりがい、高校時代の部活動等、生徒達の等身大の質問に答えてもらったり、現在もモチベーションを保ち、競技に取り組む工夫について話してもらったりしたことで、コロナ禍の学校生活においてモチベーションの下がっていた生徒も、「今できることをやる」ことの大切さを学んだ様子であった。</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>■今回の講演会の司会は、高宮さんの後輩にあたる陸上競技部の生徒3名が代表して担当した。</p> <p>■当日のカメラ撮影、配信は本校放送部の部員たちが担当した。</p> <p>■生徒による等身大の質問に答えてもらい、本校の校訓である「文武両道」を貫くことは、世界に通用する力につながるということ、また世界で活躍する先輩がいることに生徒一人一人が誇りを持てるよう『オリンピックをより身近に感じられる講演会』の実施を意識した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>■生徒による質疑応答を受け付ける際に、各クラスからメッセージを受け付け、司会が質問する形式で行ったが、Google meet等を活用し、一般の生徒も直接質問できるようにすれば更に良かった。</p> <p>■卒業生にオリンピックがいることを知っている生徒も多く、近代五種について事前に調べている生徒も見受けられた。しかし、全体としては競技についての知識が浅い生徒も多かったため、十分な事前学習を行う必要があった。</p> <p>■事後指導として、生徒には講演会の感想と高宮さんへのメッセージを書かせたが、もう少し記入の時間を多く取ったほうが良かった。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>■東京オリンピック開催後、再度高宮さんを講師に招き、オリンピックでの体験談等を講演してもらう機会を設定したい。</p> <p>■埼玉県内で実施予定の競技もあるため、今後も取り組みを続けて生徒の興味関心を高めていきたい。</p>



6 主な成果	<p>■TV でよく放映されるメジャー種目ではなく、古代オリンピックから行われているボクシングやセーリングなど、生徒自身が関わったことのない競技を調べる姿が多くみられた。</p> <p>■グループ活動時はマスク着用を徹底し、会話は最小限であったものの、仲間と協力して課題に取り組むことで、協調性を養うことにつながったと考えられる。</p>
7実践において工夫した点 (事業の特色)	<p>■プロジェクターを活用し、生徒が視覚としても情報を得ることで、知らない競技、意識していなかった競技にも関心を持てるようにした。</p> <p>■スポーツは競技を行うだけでなく、観ることや支えることで関わることもできるということが学べる内容を心掛けた。</p> <p>■Google Chromebook を用いて、ICTを活用した調べ学習を実施した。</p>
8主な課題等	<p>■『オリンピックを活用して、SDG 'sについて考える』ところまで繋げなかったが、時間が足りずに実施できなかった。</p> <p>■12月に実施予定のオリンピックによる講演に合わせて11月頃授業を実施したが、生徒たちの熱心な課題への取り組み方を考慮すると、夏季休業期間前に授業を実施し、夏季休業中の課題として調べ学習に取り組みせればよかった。</p>
9来年度以降の実施予定	<p>■保健体育の教科会にて打合せをし、今後も2年生の保健の授業を使って継続的にオリパラ教育を実施する予定である。</p>